



首都圏情報コーナー

東京に佐渡の物産PR拠点オープン

この8月、東京丸の内、国際ビルの1階に佐渡のアンテナショップ「丸の内佐渡特選館」がオープンした。これは、ひと足早く新穂大野にオープンした「佐渡特選市場本店」の姉妹店で、東京の真ん中、丸の内です。佐渡の物産を常時購入できる拠点となる。

4日のオープンには佐渡市の甲斐副市長をはじめ、関係者約30人がつめかけ、開館セレモニーが行われた。甲斐副市長は「佐渡の名前は聞いたことはあっても、何が取れるのかまでは知られていない。ここを佐渡PRの拠点にしたい」と挨拶。また、この事業を佐渡市より委託された(株)ネクストビジネスシステムの末武一春社長(新穂出身)は、「生産者が真心こめて作った本物の佐渡の産品を広く東京の人々に広めていきたい」と抱負を述べた。

このショップでは海産物・農産物はもちろん、その加工品、無名異焼などの工芸品も販売している。現在の人気は、サザエ炊き込みごはんの素、いごねり、ゆずみそ、しそみそなど。また猛暑を反映して、海洋深層水や柿のシャーベットも大人気ようである。

「開店してから約1か月、試行錯誤の連続です。」と語る末武社長。「佐渡の産品をよりよい形でPRし、佐渡の活性化に貢献したい」と抱負を語っている。(文責 佐渡市東京事務所 小路徹)

「丸の内佐渡特選館」
千代田区丸の内 3-1-1
国際ビル1階
電話：03-6269-9240



お客で賑わう店内



オープニングセレモニー(左から摩尼首都圏佐渡連合会会長、甲斐副市長、末武社長)

第7回佐渡市美術展覧会 開催のお知らせ

10月23日(土)から、両津総合体育館にて「第7回佐渡市美術展覧会」が開催されます。島内の作家による優れた美術作品や、子どもたちの生き活きとした作品が一堂に集まります。優れた美術作品を鑑賞できるこの機会、多くの方のご来場をお待ちしています。

会期 10月23日(土)～10月27日(水)
午前9時～午後8時
(最終日は午後3時まで)

会場 両津総合体育館

入場料 無料

公開審査会も予定しています。詳細が決まりましたら、ポスターやCNS等でお知らせします。

お問い合わせ

佐渡市展実行委員会事務局 ☎27-4185



昨年の佐渡市美術展覧会

稲の品質劣化も気がかりです。とくに自然相手が抜けません。しかし、この豪雨で農業用水路などへの被害は大きく、雨で倒れた



9月24日には仮設道路が完成し、胸をなでおろしました。また、9月11日～14日にかけて、記録的な豪雨が佐渡を襲いました。その結果、佐渡一周線の鷺崎手前で見立て、県道の大規模崩落が起きました。復旧には2か月はかかると思われます。また、その後、新潟県の努力のおかげで、

乾燥の日々が続きました。米の品質低下が心配される中、おけさ柿も照りつける陽光により「日焼け果」が見られます。昨年加茂湖での牡蠣は赤潮による壊滅的被害を受けましたが、今年も早々と7月末に発生してしまいました。一時は今年もかと青ざめました。が、不思議なことに9月始めにはほとんど消えてしまいました。この現象は嬉しくはありませんが、昨年は10月に大発生したことを思うとまだまだ安心はできません。

佐渡では今年7月16日以降、お盆にお湿りがあつた程度で、9月6日の台風による雨まで、乾燥の日々が続きました。米の品質低下が心配される中、おけさ柿も照りつける陽光により「日焼け果」が見られます。

史上最も暑い夏が終わりました。気象庁は9月1日、今年夏(6～8月)の日本の平均気温は平成(昭和46～平成12年の平均)を1.64度上回り、統計を開始した明治31(1898)年以降、最高だったと発表しました。

一次産業の悲哀

随想

ゆめ飛行

No. 48

佐渡市長 高野宏一郎

(題字 高野宏一郎)

